

平成21年度決算報告

歳入 95億5,369万1千円

歳出 93億3,385万3千円



もろ丸くん

もろ丸町の
家計簿をホクが
チェックする！

平成21年度決算が9月定例町議会で承認されました。決算は、私たちが納めた税金が、まちづくりや暮らしのなかで、どのように活かされてきたのかをまとめたものです。平成21年度はどのようなことに町のお金を使ったのかを報告します。

一般会計

■一般会計歳出

(単位/千円)

項目	21年度決算	対前年度増減額
民生費	24億9,603万7	1億1,502万0
総務費	18億7,691万9	5億5,506万9
土木費	11億6,967万0	1億5,348万9
教育費	10億7,580万6	1億1,222万0
衛生費	8億 619万0	3,573万9
公債費	7億4,003万9	△1,011万7
消防費	5億9,261万9	2,569万5
農林水産業費	1億4,429万5	655万2
その他		
・議会費	9,919万5	△83万9
・商工費	4,685万4	950万4
・労働費	3,411万8	408万6
・災害復旧費	0	0
・諸支出金	2億5,211万1	△6,573万1
合計	93億3,385万3	9億4,068万7

■一般会計歳入

(単位/千円)

	項目	21年度決算	対前年度増減額
自主財源	町税	38億8,339万7	△9,098万2
	繰入金	2億3,598万5	△1億9,797万0
	繰越金	8億1,283万4	6億1,609万2
	その他		
	・分担金及び負担金	1億2,423万7	△1,264万0
	・使用料及び手数料	6,938万4	317万9
	・財産収入	2,618万8	292万3
依存財源	・寄附金	111万2	83万4
	・諸収入	1億 607万5	991万0
	地方交付税	15億1,499万7	3,038万1
	町債	7億8,680万4	2億9,433万5
	国庫支出金	8億9,210万5	△2億4,328万1
	その他		
	・県支出金	4億6,626万4	△2,735万6
	・地方消費税交付金	3億1,760万7	1,994万0
	・地方譲与税	1億1,038万8	△766万0
	・地方特例交付金	5,450万5	△316万7
	・自動車取得税交付金	4,775万6	△3,394万8
・ゴルフ場利用税交付金	7,527万4	△832万2	
・利子割交付金	1,440万8	△336万1	
・株式等譲渡所得割交付金	294万4	52万6	
・配当割交付金	549万4	△152万2	
・交通安全対策特別交付金	593万3	△22万0	
合計		95億5,369万1	3億4,769万1

町民1人あたりに使われるお金は
合計25万6,827円です

町立小学校児童1人あたり 95,519円
町立中学校生徒1人あたり 199,407円

民生費 68,680円	教育費 29,601円	消防費 16,306円
総務費 51,645円	衛生費 22,183円	農林水産業費 3,970円
土木費 32,184円	公債費 20,363円	その他 11,895円

平成22年3月31日現在の人口 3万6,343人で算出

もろ丸くんの 家計簿子エック!



平成21年度の決算額は、前年度より歳入も歳出も多くなっているね。その主な理由として、歳入に関しては、毛呂山中学校の耐震補強工事と泉野学童保育所を建設するための費用などが前年度から繰り越されているからで、歳出は、定額給付金を支給するためのお金、約5億円などが、前年度から繰り越されているからなんだ。

では、具体的に平成21年度はどんなことにお金を使ったのかを、ボクと一緒に見ていこう!

まずは、前年度との比較で見てみよう。はじめは民生費。前年度と比べると1億円以上増えているんだ。でも、これは泉野学童保育所の建設のためのお金なんだ。土木費は、前年から引き続き、新飯能寄居線や野久保線の整備をしたから1億5千万円以上の増額となったんだね。また、教育費も前年度と比べると1億円以上増額しているけど、これは毛呂山中学校校舎の耐震補強工事を行ったからなんだ。

続いて平成21年度決算額全体を見てみよう。歳出で一番お金を使っているのは、何といても民生費だね。これには、こども医療費、子ども手当、保育所等委託料などの子育て対策や、介護、障害者への給付金など、誰もが安心して暮らせるまちづくりには欠かせないお金を使っているからなんだ。

皆が納めた大切な税金なんだから、有効に使わなくてはいけないよね!

平成21年度の町民1人あたりの 町税の負担額は10万6,854円です。 内訳は…

・町民税	55,180円
・固定資産税	41,465円
・町たばこ税	5,214円
・都市計画税	3,481円
・軽自動車税	1,509円
・入湯税	5円
・特別土地保有税	0円

※都市計画税とは、都市計画事業または土地区画整理事業の費用に充てるため、市街化区域内に所在する土地および家屋を所有する人に課税されます。平成21年度の都市計画税の決算額は1億2,649万4千円で、公共下水道事業などに充てられました。

平成21年度の主な事業

住民と行政の協働によるまちづくり

住民が正確な情報を共有し、隣近所で活発な住民活動が展開でき、さらに男女共同参画や住民の交流活動を促進し、簡素で効率的な行財政運営や広域的なまちづくりを進めます。

■毛呂山町コミュニティ協議会補助金	181万円
■広報等印刷事業	986万5千円
■区運営費補助金	423万7千円

健康で安心して暮らせるまちづくり

地域における支え合いを基盤として、一人ひとりに対応できるきめ細やかな健康づくり活動や、少子高齢社会などに対応する福祉活動を支援します。

■民間保育所等委託料	2億6,844万円
■児童手当等扶助費	2億4,254万5千円
■介護給付費・訓練等給付金	2億2,104万7千円

自然と共生した安全で快適なまちづくり

美しい景観づくりや水辺環境の創造を進め、また、防災対策の充実をはじめとし、防犯活動や交通安全などを住民と協働して推進し、環境に配慮した快適な生活の実現を支援します。

■コミュニティ消防センター新築工事	1,887万9千円
■埼玉西部環境保全組合負担金	4億3,240万円
■長瀬駅前野久保線整備事業	3億3,110万9千円

元気に仕事ができるまちづくり

農林業、観光、商工業の振興支援や、住民などが取り組む企業活動を支援します。

■農道・用排水路等整備事業	2,981万円
■観光事業	1,225万7千円
■商工会補助金	754万円

学びを未来に活かすまちづくり

生涯学習の支援や、一人ひとりに応じた教育の充実を図るため、家庭、地域、幼稚園、保育園、小学校、中学校間の連携と、本町ならではの特色ある教育を推進します。

■私立幼稚園就園奨励費補助金	3,486万3千円
■生徒指導・教科指導支援員事業	3,305万8千円
■毛呂山中学校校舎耐震補強工事	1億326万円

特別会計

バランスシートの

用語解説

負債の部

資産を形成するために借り入れた資金などで、将来の世代が負担しなければならないものです。

固定負債 町が借り入れをしている地方債の翌々年度以降の償還予定額です。退職給与引当金は、年度末に全職員が普通退職した場合に支払う退職金の額を負債として計上しています。

流動負債 地方債のうち翌年度の償還予定額です。

正味資産の部

資産と負債の差額で、これまでの世代によりすでに負担されたものです。

国庫支出金・都道府県支出金 国・県から受け入れた資金です。

一般財源等 資産形成のために充てられた地方税などの金額です。

資産の部

これまでの行政活動によって形成された町の経営資源となるものです。

有形固定資産 町役場庁舎や公民館などの建物や付属設備、橋や道路の舗装などの構築物、町の所有している自動車や土地などを行政目的別に表示しています。土地を除き施設の耐用年数に応じて減価償却を行っています。

投資等 土地開発公社や川越総合卸売市場への出資金や、公共施設整備基金などの特定目的基金と土地開発基金などです。退職手当組合積立金は、退職金の支給に備えて町が加入している退職手当組合の資産の持分相当額です。

流動資産 現金・預金のほか現金化することが容易な基金と町税などの未収金です。

国民健康保険特別会計

安心して医療を受けることができるように保険制度の維持・運営に使われました。

2億4,251万5千円を平成22年度に繰り越しました。

■歳入 44億 57万8千円
■歳出 41億5,806万3千円

介護保険特別会計

介護を必要とする人や、介護予防が必要な人が安心して生活を送るために使われました。

1億707万4千円を平成22年度に繰り越しました。

■歳入 14億5,121万7千円
■歳出 13億4,414万3千円

老人保健特別会計

平成20年3月診療分以前の月遅れ請求分について、老人保健法による保健給付を行いました。

959万円を平成22年度に繰り越しました。

■歳入 2,845万4千円
■歳出 1,886万4千円

水道事業会計

日常生活に欠かせない生活用水を安定供給するために使われました。

■水道事業収益（水道料金など） 7億6,710万4千円
■水道事業費用（水道施設維持管理、県水受水費など） 7億2,415万6千円
消費税分を差し引いて3,108万8千円の純利益となりました。
■資本的収入（国庫補助金など） 1,093万5千円
■資本的支出（建設改良費など） 3億4,891万5千円

3億3,798万円の不足は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額と過年度分損益勘定留保資金、減債積立金で補てんされました。

毛呂山町の特別会計は、国民健康保険、介護保険、老人保健、後期高齢者医療、農業集落排水事業の5つの特別会計と、企業会計の水道事業会計があります。



後期高齢者医療特別会計

高齢者が安心して医療が受けられるように、制度の維持・運営に使われました。

589万7千円を平成22年度に繰り越しました。

■歳入 2億4,924万2千円
■歳出 2億4,334万5千円

農業集落排水事業特別会計

農村地域の生活向上のため、排水処理施設の整備を行いました。現在、主要な事業が終わり、主に維持管理を行っています。

578万3千円を平成21年度に繰り越しました。

■歳入 2,946万円
■歳出 2,367万7千円